

■ こたえ

- いち 1 う
- に 2 く
- 3 そ
- 4 て
- 5 ね
- 6 ほ
- 7 ま
- 8 よ
- 9 る
- 10 を

二に 1 うた(を) うたう。

2 かさ(を) さす。

3 おし(を) おいかける。

4 てれび(を) みる。

5 しんぶん(を) よむ。

6 かきごおり(を) たべる。

7 ぎゆうにゆう(を) のむ。

8 じてんしゃ(に) のる。

■ 考え方

ぶんを かく ときには、ぶんの おわりに まる「。」を つける ことが たいせつ です。

とりくんでみよう!

えを みて、
させましょう。

田に ひらがなを かいて ことばを かんせい



1 おじ さん
2 おば さん

こたえ

あ
こ
い
し

■ 答え

一 1 イ

二 1 ア

三 1 にちようび 2 はな(す) 3 まえ 4 ゆき 5 きいろ

四 1 カ 2 空 3 竹 4 水 5 林

■ 考え方

一 1 たんぽぽが そだつ ようすに ついて、どのような じゅんじよで せつめい しているかに 気を つけて、読む ことが 大せつです。

二 1 話し手が 知らせたいと 思っている ことを 聞きおとさないように、じゅんじよを 考えながら 聞いたり、メモをとりながら 聞いたりすることが 大せつです。

取り組んでみよう！

■ つぎの 線部の カタカナを、漢字で ていねいに 書きましよう。

1 ツキの ひかり。

3 クルマに のる。

2 アオい ふく。

4 モリの なか。

答え

葉 車 の 鼻 目

■正答

一 1 イ

2 (れい1)

ひつようなことをすばやく知らせてくれる合図やしるしがたくさん使われているから。(三十九字)

(れい2)

ひょうしきや記号が、わたしたちにひつようなことをすばやく知らせてくれるから。(三十八字)

3 イ

二 1 お(わる)

2 あつ(まる)

3 いみ

4 へんじ

5 ぶんしょうだい

三 1 時間

2 帰(る)

3 理科室

4 通(る)

5 晴天

■考え方

一 1 —— 線①の前にあるだん落に出てくるれいをさがします。

2 直前にある「そのために」などの接続語の意味に気を付けながら、文章を読むようにします。

取り組んでみよう!

■ 次の——線部の漢字の正しい読み方をひらがなで、カタカナを漢字でいねいに書きましよう。

わたしは、ナツヤスみにイエにある図かんで、動物のことをシラべました。

1

2

3

4

1

2

3

4

答え

(こ) 雌

ヤ

つばいば

ε

雫

こ

(ま) 体

夏

一学期サポート問題(第三回) 国語 小四 【児童用】

■正答

一 1 イ

2 例1 わたしは、きっぱりと大きな声で読みます。ビオラのきつとできるはずだという気持ちの強さが伝わるからです。

例2 だんだん強くなるように読みます。その理由は、ビオラは、最初は少し自信がなかったけれど、自分にも強く言い聞かせているからです。

例3 ビオラは、とてもよい考えがうかんで、うれしいと思います。だから、うれしそうに明るく読みます。

二 1 いんしょう 2 じてん 3 ぎだい 4 はいたつ 5 ふうけい

三 1 都合 2 平等 3 勝負 4 研究 5 係

■考え方

一 1 この場面の会話から、それぞれの楽器の気持ちを想像して読むことが大切です。ここでは、たいこの「できるはずがないよ」という言葉に着目します。

2 声の強弱や読む速さ、「明るく」や「大きな声で」などの音読の仕方と、そのように読む理由を「ビオラの気持ち」を取り上げて書いていけば正かいとします。文章の内容から、ビオラの気持ちを想像して、声の強弱や高さ、読む速さなどの工夫を具体的に考えることが大切です。

取り組んでみよう！

■ 次の —— 線部のカタカナを、漢字でていねいに書きましょう。

1 クスリを飲む。



3 コマかく切る。



2 シアワせな時間。



4 プールでオヨぐ。



答え

(シ) 疾

ヤ

(ク) 快

時

と

(コ) 幸

乙

垂

↓

一学期サポート問題(第三回) 国語 小五 【児童用】

■ 正答

- 一 1 (例1) 寒い地方にすむ動物のほうが、あたたかい地方にすむ動物にくらべて、体が丸っこく、出っ張り部分が少ないけい向があること。(五十八字)
- (例2) 寒い地方にすむ動物は、あたたかい地方にすむ動物よりも、体が丸っこく出っ張りが少ないけい向がみとめられること。(五十四字)

- 2 (例1) 体温が上がるのを防ぐ(十字)
- (例2) 熱をにがして体温が上がらないようにする(十九字)

- ニ 1 ようき 2 き(く) 3 けんちく 4 いどう 5 きょうみ
- 三 1 席 2 飛(ぶ) 3 結果 4 料理 5 観察

■ 考え方

- 一 文章を読むときには、筆者が何を伝えようとしているのかを考えながら読むことが重要です。

取り組んでみよう!

■ 次の——線部の漢字の正しい読み方を、ひらがなで書きましょう。

- 1 体を反らす。
- 2 子どもを養う。

■ 次の——線部のカタカナを、漢字でていねいに書きましょう。

- 3 ルールをセツメイする。
- 4 ドリヨクを続ける。

答え

4 席 サ 飛 ぶ 結果 8 (し) いどう 2 (ちり) ヨク 3 (り) ルールをセツメイする (せつめい) 4 (どり) ヨク

■正答

一 1 ウ

2 B (例) ラットは、(人間以外のほ乳動物のいない、すなわち、)えさをうば

い合う競争相手も天敵もないこの島で、爆発的にはんしよくした。

C (例) 人間による直接の森林破壊

二 1 たいさく 2 しふく 3 せいろん 4 こきゆう 5 ざせき

三 1 責任 2 増減 3 許可 4 準備 5 評判

■考え方

一 2 B 【事実】と【意見】との関係に注意しながら読むときには、文末の表現に着目して述べられていることが事実なのか意見なのかを考えましょう。

C 「まとめ」を探すときには、「このように」などの言葉を手がかりに考えましょう。

取り組んでみよう！

次の——線部のカタカナを、漢字でていねいに書きましょう。

1 群れをヒキいる。

[]

3 学習のカダイを書く。

[]

2 カギられた時間。

[]

4 星にカンシンをもつ。

[]

答え

ひき 群 群れ (ヒキ) 群 群れ
かぎ 鍵 鍵 (カギ) 鍵 鍵
かんしん 感心 (カンシン) 感心 感心
かたい 固 (カタイ) 固 固